

社会貢献活動(地域ボランティア活動)の実施報告

(一社) 札幌林業土木協会

活動内容

創立50周年を記念して社会貢献の森に植樹

- 1 実施年月日 : 平成29年9月13日(水)
- 2 実施場所 : 北海道千歳市支笏湖
石狩森林管理署管内 社会貢献の森
- 3 参加人数 : 会員26社、31名
北海道森林管理局3名、石狩森林管理署2名
- 4 活動内容 :

石狩森林管理署は、札幌市周辺の約21万haの国有林を管理経営していますが、南部の支笏湖周辺では、平成27年の台風により部分的に風倒木が発生しました。

一方、当協会は昭和42年に社団法人として設立され、以来、国土保全、治山事業及び森林整備事業の推進に寄与してきましたが、今年で創立50周年を迎えました。

これを記念して、風倒木被害地の復旧を支援するため、地元の石狩森林管理署と「社会貢献の森」として「創立50周年記念植樹の森」(0.81ha)を設定しました。

当日は、天候にも恵まれ、会員企業26社から31名が参加し、手分けしてトドマツのコンテナ苗1,500本を植栽しました。

また、北海道森林管理局から上田浩文次長ほか2名、石狩森林管理署から牧野利信署長らも参加され、開会式では坂田会長の挨拶に続き、上田次長から当協会の取組に感謝するという御挨拶をいただきました。

創立を記念し、社会貢献活動の一環として国有林でこのような活動ができることは極めて意義深いことであり、当協会はこの森に植栽した苗木の健やかな成長を見守っていきたくと考えています。

なお、この活動の様子は、北海道建設新聞に掲載されました。

活動写真



作業前の開会式の様子



開会式における上田次長の御挨拶



開会式における坂田会長の挨拶



会員企業による植樹指導 ((株) 小玉)



丁寧に行われた植樹



作業後、記念の標柱を設置